だれでも幸せになれる教えです！！

ひかり

2023年
12 月
220号

◇年末は一年の総決算月
◇常に悲観を懐いて心遂に醒悟す
◇宗教の基本は親孝行

宗教法人　真 生 会

http://www.shinseikai-world.or.jp

令和五年信仰目標

利他の心を育もう

『思いやりのある家庭と社会を作ろう！』

真生会の教えとは！

仏さまの智慧とものの見方を身に付け、自分の運命を変える在家の法華経教団です。宗旨宗派は問いません。どなたでも安心してお越し下さい。

◇慈悲の世界「真生楽園建設」

・ぬくもりと安心のある家庭と社会を作る
・思いやりと親切の実践

◇即身成仏「輝く自分作り」

・ありのままで輝く自分自身になる
・笑顔と明るい声がけの実践

◇幸福の五ヶ条

一、素直な心‥（おかげさま）
二、誠の心‥‥（まず人さま）
三、明るい心‥（きっとよくなる）
四、尊ぶ心‥‥（仏性を拝む）
五、信じる心‥（皆、仏の子）

七五三詣り 子供災難除け祈願

十一月十二日（日）インフルエンザの流行で欠席者も多い中、総本山真生寺、大阪教会で七五三・子供災難除けご祈祷が和やかな笑顔の中で行われました。

本堂前で集合写真

七五三詣り

豊田真悠子さん

亀井愛果さん

子供災難除け

田中爽藍さん

亀井悠真くん

田中宏明様家族

豊田直正様家族

亀井善広様家族

大阪教会、七五三・子供災難除け祈願

新年交通安全祈願
福だるま特別祈願
ご宝前鏡餅ご奉納

総本山、各教会にて申込受付中。
お早めにお申し込み下さい！

開祖さまのみ教え

開祖　田中偉仁

人にはうぬぼれ心があります。

人には誰にもうぬぼれ心があります。このうぬぼれ心が思わぬ失敗を招き、人生に行き詰まりを生じるのです。自分は正直で何一つ悪い事はしていないのに思うようにならないと嘆く人、年と共に寂しい孤独の生活に落ち、世の矛盾に腹を立て、最後は経済苦や病苦に生きる気力を失う人が案外多いのです。その原因は、人としてこの世に生まれて来た目的を知らず、漠然と生活してきた誤りです。人間が生まれて来た真の目的とは「**自分の魂を磨くため**」であり、自ら磨く努力をしない限り、誰かが磨き役になるのです。その証拠に自分の周辺には苦になる人が一人や二人いるはずです。それが分かれば怒って腹を立てることも無いはずです。自分がダイヤモンドのように光り輝いていれば、人は尊敬と信頼をもって誉めたてるでしょう。もし人から言われて腹が立ち不平不満が充満するのであれば、それは慢心の姿です。

（1982年、真実に生きる32号より）

ご真教法話

会長　田中(たなか)庸仁(つねひと)

◇年末は一年の総決算月

今年も残す所、一ヶ月足らずになりました。一年を振り返り、怒りや愚痴や貪(むさぼ)りの不徳の赤字決算にならないよう徳の積める生活を心掛け、天から徳のボーナスが頂けるよう励みましょう。

そこで、今回はちょっと早い私の総決算のお話を致します。九月二十七日から十日間、喉(のど)が腫(は)れ上がり食事もできない、唾(つば)を飲み込んでも激痛がする大変辛(つら)い思いをし、いろいろ反省懺悔(さんげ)しました。（ひかり十一月号参照）

十月三十一日は比叡山(ひえいざん)の元執行(しぎょう)様の葬儀に参列した帰り、高速道路を関ヶ原インターチェンジで降り、斜めに一般道に合流する所で目視(もくし)で安全確認をして進んだらミニパトカーに呼び止められ、一旦停止違反で切符を切られました。

　実は関ヶ原には高齢で熱心なご信者さんがおられ、関西地方に布教に行く時は、必ず寄って一心行で拝ませて頂いておりました。この日は、夜に個人の趣味で再開した剣道の練習があり、帰りの道中ご信者さんのお宅に寄るべきか否かで迷いましたが、寄っていると練習時間ギリギリになるから今日は何も連絡していないので、このままスルーして帰ろうと決めて高速道路を降りた途端、天（警察）から一旦停止のスルー違反だと検挙されたのです。

　そこで気付きました。警察に呼び止められていた時間がちょうどご信者さん宅に寄らせてもらうのと同じぐらいだったのです。天（仏さま）から「あなたは人救いの布教が本業なのだから、個人の趣味や都合で仏さまの御用をスルーしてはいけませんよ」という警告であったと反省しました。このような小さなお知らせが続いた後、もっと大きな大変なお知らせを頂いたのです。

極めつけは十一月三日、ひかり十一月号も書き終わり職員に印刷を任せ、十一月末の聖地一斉勤労奉仕に向けて少しでも山の下刈りをしておこうと思い一人で山の下刈りを始めて間もなく、段差に気付かず転倒し強く足を付いた時ドンという鈍い音がして右足のアキレス腱を切ってしまったのです。入院手術の結果、二ヶ月間のギプス装着、リハビリを含め全治五ヶ月の診断でした。

◇常に悲観を懐いて心遂に醒悟す（法華経寿量品）

仏さまはいつでもどこでも誰に対してでも、正しいことに気付くように正しい道が歩めるように現象や出会いを通じて導いて下さっているのです。しかし、私達凡夫はなかなか気付けないのです。だから、哀しい思い辛い思いに直面して初めて自分の不徳に覚醒め、大切なことを悟ることが出来るのです。

足に大怪我をして当分の間、足の働きが出来ないのですから、これは大きな不足が溜まっていて最後に怒れた結果だと悟りました。

十月二十二日は真生会の二大行事の一つ「秋の大観音まつり」でした。コロナも少し下火になり、遠方の教会からの参拝もありますので、皆さんに少しでもお祭り気分を楽しんで頂こうと、式典のドローン空中撮影や昼食のキッチン

カーや子供餅まき、大人の餅まきなどいろいろ工夫を凝らして準備していましたが、日が近づくにしたがって子供や親がインフルエンザになったとか、急に都合が悪くなったとかで前日まで欠席の連絡が続き、最終的には私の子供や孫も全員不参加になったのです。病気や急用は不可抗力で已むを得ないことですが、情熱込めて色々準備してきた私の心はプツンと切れて怒れたのです。その結果、アキレス腱がプツンと切れたのです。

◇宗教の基本は親孝行

足の大怪我をしてもう一つ気付き大懺悔したことがあります。それは親孝行の足りなかったことに対する懺悔です。「宗」はウ冠＝屋根の下で示す。何を示すのか「教」は孝を文（文）にする＝親孝行を実践するという意味です。「親孝行したい時には親はなし」と言いますが、凡夫は大切な人や大切なことを失って初めて気付くことが多いの

です。教母さま亡き後十三年の間に、開祖さまは胆石の手術、脳梗塞や大動脈乖離などの大病で入院療養された時、本当に寄り添えていたか安心して頂いていただろうかと思うと、開祖さまは一度も弱音を言われませんでしたが、私たち夫婦や子供たちも同居していましたが、開祖さまの一抹の不安や寂しさを一人忍んでおられたのでは無いかと思うとまことに申し訳なく、今さらながら慚愧させて頂きました。

　初老になって大怪我をしてみると、自分が思っている以上に体と心にダメージとストレスがあったのか、昼間は大丈夫なのですが、夕食の後一人寝室にいると、怪我の回復のこと、教団のこと、法座や行事のこと、ご信者さんのこと、家族のこと、将来のことなどいろいろなことが思えて、どことなく心がざわつき、どこからとなく沸々と湧いて来る漠然とした不安に、家内を呼んで傍にいてもらいました。家内が横にいて何気ない会話をしていると心が落ち着き不安な気持ちが薄らぎ、気持ちが安定して眠れたのです。こんなことが数日続きました。現代は様々な事情で、老夫婦だけの高齢家庭が増えてきました。健康な時は良いのですが、連れ添い亡き後、病気や大きな怪我をした時、見舞いに来

てくれた子や孫が帰った後、一人過ごす長い夜、何とも言えない不安や寂しさがあることに気付きましょう。また同居していても家族との会話も少なく、早々に寝室に戻り眠るしかない年老いた親の寂しさに思いを馳(は)せましょう。

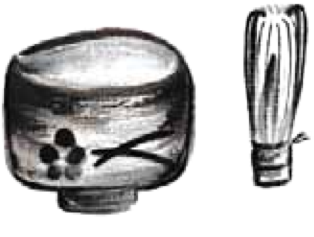
幕末明治維新の精神的柱であった吉田松陰(よしだしょういん)が、幕府の掟(おきて)を破った犯罪人として処刑(しょけい)された時の辞世(じせい)の句です。

親思う心にまさる親心、今日のおとづれ何と聞くらん

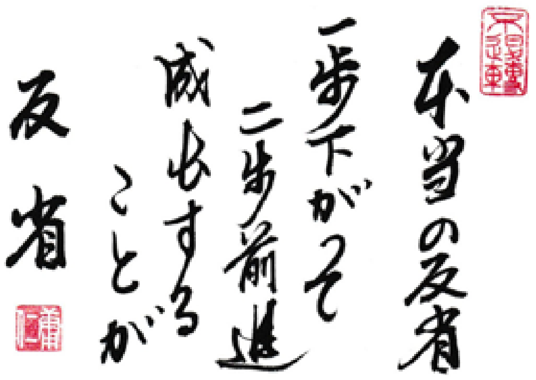
子が親の事を想う以上に、親が子を想う気持ちは深いものである。自分の死の知らせをどんな思いで聞くのだろう。

どんなに優秀で親思いの子でも、親の子を思う心には遠く及ばないと歌っています。宗教の基本、人間の幸せの基本は「親孝行」です。生きている親はもちろん、亡き親の心を汲(く)ませて頂きましょう。きっと幸せになれます。

そして、信仰をしていると知らぬうちに心が浄められ、小さな間違いにもすぐに気付けることが有り難いのです。



14



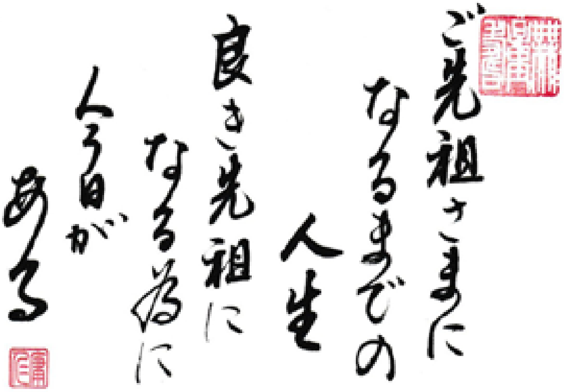
日めくり解説⑧

三十年ほど前「反省（謝る）だけなら猿でもできる」というテレビＣＭがありました。人に迷惑を掛けたら、ごめんなさいと頭を下げることは大切なことですが、それだけでは世間の信用は取り戻せません。

本当の反省とは、①心からお詫びをして謝る（一歩下がる。これだけなら猿並み）②二度と同じ過ちを繰り返さないと誓う（二歩前進）③失敗に萎縮せず、次は人に喜んでもらえる行動をする（もう一歩前進）

本当の反省とは過ちを悔いて卑屈になることではない。勇気を持って前進更生すること。人の三倍努力すれば、必ず認められます。

15



「子供叱(しか)るな来た道じゃ、老人笑うな行く道じゃ」という諺(ことわざ)があります。

子供も老人もいずれ、この世の役目を終わってあの世に行く時が来ます。

霊界に旅立つと誰でも必ず「ご先祖さま」になるのです。

この世に残った子や孫、親戚や友人から「いい人だった」と惜(お)しまれ、「素晴らしい人だった」と尊敬されるご先祖さまになりたいですね。

そういう良きご先祖さまに成る為に一日一日を大切に、自分のこと自分の欲を少し後回しにして、家族や周囲の人に喜んでもらえるよう今日一日を積み重ねていきましょう！

今月の運勢（1月）

（2024年１月６日～２月３日）

一白水星

陽光の下、情熱をもって何事も最後までやり通す人は運が強く、途中で放り出す人は運が弱い。任せられたことは最後まで責任もってやること。終わって安心せず次に進むこと。

二黒土星

運気は弱く、一見平和に見えるが、危険が潜んでいる。無用な争いは避けること。一旦争いが始まって負けたら取り返しがつかない。経験豊かな人に従い対処すること。

三碧木星

心に余裕をもって何事も悦び楽しむこと。何をするにも事前に皆の心を一致団結させ、優れたリーダーを立てれば、事が思い通り進む。バラバラだと崩壊する危険がある。

四緑木星

運気が強く力が充実している。何事もやれば成功する。単独行動ではなく多くの人と共に行動し、得られた益を分け与えれば更に増益する。良い事には素直に従い、過ちがあれば迷わず改めること。

五黄土星

高運気を迎えている。大いに活動範囲と人脈を広げるチャンス。引っ込み思案にならず、何事にも積極的に挑戦すると良い。優しさと従順さを失わなければ心配はいらない。

六白金星

何事もスピード感を持って行動する六白だが、今は動きを止めてゆっくり休養を取ること。目先のことだけにとらわれず、全体をよく見定めて判断すること。エネルギーを蓄えて次に備えよう。

七赤金星

やってきたことを完成し成し遂げる時。決断をする前によく仲間を納得させ団結させる必要がある。強引に進めることはよくない。充分用意周到に行えば思いのままに事は運ぶ。

八白土星

収穫の時であるが、自分だけの利益とせず、損を承知で人に施せばかえって吉となる。減らすことを考えれば悩みが減り、増やすことばかり考えていると身動きができなくなる。

九紫火星

変化の時を迎え、心ならずも今の居場所を離れなければならない。難問が待ち受けているが、心配はいらない。光を求めて希望をもって進むこと。動揺せず明るさを失わなければ幸運も転がっている。

しあわせ眼鏡

失敗するのは人の常だ。
その失敗を認め、挽回(ばんかい)できる者が偉(い)大(だい)なのだ。

（名探偵、シャーロック・ホームズの言葉）

お気軽にご連絡ご相談下さい

【総本山真生寺】 〒501-1105 岐阜市彦坂 178 番地
ＴＥＬ 058 ー 235 ー 7304

【岐阜教会】 〒500-8882 岐阜市西野町 3 ー 19
ＴＥＬ 058 ー 262 ー 9615

【大阪教会】 〒532-0028 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10
ＴＥＬ 06 ー 6308 ー 5637

【名古屋教会】 〒454-0808 名古屋市中川区九重町 3 ー 10
ＴＥＬ 052 ー 351 ー 3904

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送りします

２０２３年12月10日発行　第２２０号（通巻３２５号）
※誌代無料（ご浄財の献金により無料発刊しています）